第91回 簿記実務検定第3級試験問題

商業簿記

(制限時間 1 時間 30 分)

1

下記の取引の仕訳を示しなさい。ただし、勘定科目は、次のなかからもっとも適当なものを使用すること。

現	金	小	口	現	金	当	座	預	金	普	通	預	金					
売	掛	金	貸	倒	引	当	金	有	価	証	券	仮	払	金				
備	品	買	掛	金	仮	受	金	有	価	証	券	売	却	益				
仕	入	広	告	料	貸	倒	損	失	通	信	費							
旅	費	消	耗	品	費	雑	費					有	価	証	券	売	却	損

- a. 事務用の備品 $\yen 800,000$ を購入し、代金は小切手を振り出して支払った。
- b. 得意先南北商店が倒産し、前期から繰り越された同店に対する売掛金 $\yen 76,000$ が回収不能となったため、貸し倒れとして処理した。ただし、貸倒引当金勘定の残高が $\yen 130,000$ ある。
- c. 北海道商店から商品 $\yen 420,000$ を仕入れ、代金は掛けとした。なお、引取運賃 $\yen 6,000$ は現金で支払った。
- d. 従業員の出張にさいし、旅費の概算額として $\yen 90,000$ を仮払いしていたが、本日、従業員が帰店して精算をおこない、残額 $\yen 7,000$ を現金で受け取った。
- e. 富山新聞販売店に折り込み広告代金として $\yen 30,000$ を現金で支払った。
- f. 売買目的で保有している新潟株式会社の株式200株（1株の帳簿価額 $\yen 6,000$ ）を1株につき $\yen 7,000$ で売却し、代金は当店の当座預金口座に振り込まれた。
- g. 定額資金前渡法（インプレスト・システム）を採用している石川商店の会計係は、庶務係に小口現金として $\yen 50,000$ を前渡ししていたが、本日、当月分の支払高について、次のとおり報告を受けたので、ただちに小切手を振り出して補給した。
- 通 信 費 $\yen 20,000$ 消 耗 品 費 $\yen 17,000$ 雑 費 $\yen 8,000$
- h. 全商銀行に現金 $\yen 300,000$ を普通預金として預け入れた。

2

東西商店の次の取引を入金伝票・出金伝票・振替伝票のうち、必要な伝票に記入しなさい。ただし、不要な伝票は空欄のままにしておくこと。

取 引

1/月/2日 和歌山商店に借用証書によって借り入れていた ¥500,000 を小切手#18を振り出して返済した。 (伝票番号 No.26)

〃 日 福井市役所から固定資産税の納税通知書を受け取り、ただちにこの税額 ¥250,000 を現金で納付した。 (伝票番号 No.13)

3

近畿商店の下記の取引について、

(1) 仕訳帳に記入して、総勘定元帳の当座預金勘定と売掛金勘定に転記しなさい。

(2) 売上帳と売掛金元帳に記入して、締め切りなさい。

ただし、i 商品に関する勘定は3分法によること。

ii 仕訳帳の小書きは省略する。

iii 元丁欄には、当座預金勘定と売掛金勘定に転記するときだけ記入すればよい。

取 引

1/月 7日 大阪商店から次の商品を仕入れ、代金は小切手#8を振り出して支払った。

A 品	800個	@ ¥270	¥216,000
B 品	600〃	〃〃310	¥186,000
C 品	100〃	〃〃500	¥50,000

1/2日 京都商店に次の商品を売り渡し、代金は掛けとした。

A 品	900個	@ ¥380	¥342,000
B 品	500〃	〃〃460	¥230,000

1/5日 京都商店に売り渡した上記商品の一部について、次のとおり返品された。なお、この代金は売掛金から差し引くことにした。

A 品	50個	@ ¥380	¥19,000
-----	-----	--------	---------

1/8日 兵庫商店に次の商品を売り渡し、代金は掛けとした。

A 品	400個	@ ¥380	¥152,000
C 品	90〃	〃〃700	¥63,000

2/5日 兵庫商店から売掛金の一部を次の小切手で受け取り、ただちに当座預金に預け入れた。

KB0007	小 切 手	神戸 2801 0914-028
支払地	兵庫県姫路市井ノ口468	
	株式会社 全商銀行姫路支店	
金 額	¥150,000	
	上記の金額をこの小切手と引き替えに 持参人へお支払いください	
	兵庫県神戸市垂水区星陵台4-3-1	
	兵 庫 商 店	神戸
令和〇年1月25日	振出人	神戸 大 介
振出地 兵庫県神戸市		

2/7日 奈良商店に対する買掛金の一部 ¥395,000 を小切手#9を振り出して支払った。

2/9日 京都商店から売掛金の一部 ¥374,000 を同店振り出しの小切手#4で受け取った。

4

次の各問いに答えなさい。

- (1) 次の文の にあてはまるもっとも適当な語を、下記の語群のなかから選び、その番号を記入しなさい。

企業の一会計期間の経営成績を明らかにした報告書を損益計算書といい、英語では と表す。

1. Balance Sheet (B/S) 2. Account (A/C) 3. Profit and Loss Statement (P/L)

- (2) 三重商店の次の仕訳帳と勘定記録および合計残高試算表から、(a) と (b) に入る金額を求めなさい。

仕 訳 帳					買 掛 金		6
令和 ○年	摘 要	元 丁	借 方	貸 方	834,000	1/1 前期繰越	381,000
/ /	前期繰越高	✓	1,500,000	1,500,000			975,000
			8,492,000	8,492,000			

- (注意) i 仕訳帳の期中取引は省略されている。
ii 買掛金勘定の記録は、合計額で示してある。

合計残高試算表

令和○年/2月31日

借 方		元 丁	勘 定 科 目	貸 方	
残 高	合 計			合 計	残 高
()	686,000	1	現 金	72,000	
()	2,461,000	2	当 座 預 金	1,840,000	
()	1,424,000	3	売 掛 金	967,000	
()	352,000	4	繰 越 商 品		
()	596,000	5	備 品		
()	()	6	買 掛 金	()	(b)
		7	資 本 金	2,848,000	()
	60,000	8	売 上	1,347,000	()
()	1,035,000	9	仕 入	62,000	
()	792,000	10	給 料		
()	252,000	11	支 払 家 賃		
4,657,000	(a)			(a)	4,657,000

- (3) 滋賀商店における下記の当座預金出納帳と受取手形記入帳によって、

- a. 受取手形記入帳の (ア) の金額を求めなさい。
b. 2月/6日に約束手形#9を割り引いたさいの、手形売却損の金額を求めなさい。
ただし、借越限度額を ¥500,000 とする当座借越契約を結んでいる。

当 座 預 金 出 納 帳

令和 ○年	摘 要	預 入	引 出	借また貸 は	残 高
2 /	前月繰越	110,000		借	110,000
	7 米原商店から商品仕入れ 小切手#2		150,000	貸	()
	9 大津商店振り出し 約手#3 入金	()		借	360,000
	16 彦根商店振り出し 約手#9 割引	599,000		〃	959,000

受 取 手 形 記 入 帳

令和 ○年	摘 要	金 額	手形 種類	手形 番号	支 払 人	振出人また は裏書人	振出日	満期日	支払場所	て ん 末		
										月	日	摘 要
/ 9	売り上げ	(ア)	約手	3	大津商店	大津商店	/ 9	2 9	全商銀行大津支店	2 9		入 金
/ 16	売り上げ	600,000	約手	9	彦根商店	彦根商店	/ 16	3 16	全商銀行彦根支店	2 16		割 引

5

北陸商店（個人企業 決算年/回 /2月3/日）の総勘定元帳勘定残高と決算整理事項等は、次のとおりであった。よって、

- (1) 決算整理事項等の仕訳を示しなさい。
- (2) 売上勘定に必要な記入をおこない、締め切りなさい。ただし、勘定記入は日付・相手科目・金額を示すこと。
- (3) 貸借対照表を完成しなさい。

元帳勘定残高

現金	¥ 782,000	当座預金	¥ 1,436,000	売掛金	¥ 1,850,000
貸倒引当金	6,000	繰越商品	820,000	貸付金	1,600,000
備品	675,000	買掛金	1,480,000	前受金	230,000
資本金	4,520,000	売上	9,572,000	受取利息	32,000
仕入	6,935,000	給料	1,320,000	支払家賃	240,000
消耗品費	72,000	雑費	106,000	現金過不足	4,000
				(借方残高)	

決算整理事項等

- a. 期末商品棚卸高 ¥ 740,000
- b. 貸倒見積高 売掛金残高の2%と見積もり、貸倒引当金を設定する。
- c. 備品減価償却高 取得原価 ¥ 1,350,000 残存価額は零(0) 耐用年数は6年とし、定額法により計算し、直接法で記帳している。

$$\text{定額法による年間の減価償却費} = \frac{\text{取得原価} - \text{残存価額}}{\text{耐用年数}}$$

- d. 現金過不足勘定の ¥ 4,000 は雑損とする。

第91回 簿記実務検定 3級 商業簿記 [解答用紙]

1	借 方	貸 方
a		
b		
c		
d		
e		
f		
g		
h		

1 得点		2 得点		3 得点		4 得点		5 得点		総得点	
---------	--	---------	--	---------	--	---------	--	---------	--	-----	--

試 験 場 校	受 験 番 号

5

(1)

	借 方	貸 方
a		
b		
c		
d		

- (2) (注意) i 売上勘定の記録は、合計額で示してある。
 ii 勘定には、日付・相手科目・金額を記入し、締め切ること。

売	上	11
129,000		9,701,000

(3)

貸 借 対 照 表

北陸商店

令和〇年/2月3/日

(単位：円)

資 産	金 額	負債および純資産	金 額
現 金		買 掛 金	
当 座 預 金		()	
売 掛 金 ()		資 本 金	
貸 倒 引 当 金 ()		()	
()			
貸 付 金			
備 品			

5	
得点	

第91回 簿記実務検定 3級 商業簿記 [解 答]

借 方		貸 方	
a	備 品 800,000	当 座 預 金 800,000	
b	貸 倒 引 当 金 76,000	売 掛 金 76,000	
c	仕 入 426,000	買 掛 金 420,000 現 金 6,000	
d	旅 費 83,000 現 金 7,000	仮 払 金 90,000	
e	広 告 料 30,000	現 金 30,000	
f	当 座 預 金 1,400,000	有 価 証 券 1,200,000 有 価 証 券 売 却 益 200,000	
g	通 信 費 20,000 消 耗 品 費 17,000 雑 費 8,000 小 口 現 金 45,000 〔 または 通 信 費 20,000 消 耗 品 費 17,000 雑 費 8,000 〕	小 口 現 金 45,000 当 座 預 金 45,000 当 座 預 金 45,000	
h	普 通 預 金 300,000	現 金 300,000	

入 金 伝 票 No. ____				出 金 伝 票 No. 13			
令和〇年 月 日				令和〇年 1月 12日			
科目	入金先	殿		科目	支払先	福井市役所 殿	
摘 要		金 額		摘 要		金 額	
				固定資産税の納付		2	500000
合 計				合 計		2	500000

振 替 伝 票 No. 26			
令和〇年 1月 12日			
勘 定 科 目	借 方	勘 定 科 目	貸 方
借 入 金	5000000	当 座 預 金	5000000
合 計	5000000	合 計	5000000
摘要 和歌山商店へ借入金を返済 小切手#18 振り出し			

3 (1) 仕 訳 帳 1

令和〇年	摘 要	元 丁	借 方	貸 方
/ /	前期繰越高	✓	6,070,000	6,070,000
7	(仕 入)		452,000	
	(当 座 預 金)	2		452,000
12	(売 掛 金)	4	572,000	
	(売 上)			572,000
15	(売 上)		19,000	
	(売 掛 金)	4		19,000
18	(売 掛 金)	4	215,000	
	(売 上)			215,000
25	(当 座 預 金)	2	156,000	
	(売 掛 金)	4		156,000
27	(買 掛 金)		395,000	
	(当 座 預 金)	2		395,000
29	(現 金)		374,000	
	(売 掛 金)	4		374,000

総 勘 定 元 帳 2

当 座 預 金

令和〇年	摘 要	仕 丁	借 方	令和〇年	摘 要	仕 丁	貸 方
/ /	前期繰越高	✓	1,208,000	1 7	仕 入	1	452,000
25	売 掛 金	1	156,000	27	買 掛 金	々	395,000

売 掛 金 4

令和〇年	摘 要	仕 丁	借 方	令和〇年	摘 要	仕 丁	貸 方
/ /	前期繰越高	✓	530,000	1 15	売 上	1	19,000
12	売 上	1	572,000	25	当 座 預 金	々	156,000
18	売 上	々	215,000	29	現 金	々	374,000

(2)

令和○年		摘要		内 訳	金 額
1	12	京都商店	掛 け		
		A 品	900個 @ ¥380	342,000	
		B 品	500個 ¥460	230,000	572,000
	15	京都商店	掛 け 返 品		
		A 品	50個 @ ¥380		19,000
	18	兵庫商店	掛 け		
		A 品	400個 @ ¥380	152,000	
		C 品	90個 ¥700	63,000	215,000
	31		総売上高		787,000
			売上返品高		19,000
			純売上高		768,000

売 掛 金 元 帳
京 都 商 店

令和○年	摘要	借 方	貸 方	借 また は 貸	残 高
/ /	前月繰越	374,000		借	374,000
12	売り上げ	572,000		〃	946,000
15	返 品		19,000	〃	927,000
29	回 収		374,000	〃	553,000
31	次 月 繰 越		553,000		
		946,000	946,000		

兵 庫 商 店

令和○年	摘要	借 方	貸 方	借 また は 貸	残 高
/ /	前月繰越	156,000		借	156,000
18	売り上げ	215,000		〃	371,000
25	回 収		156,000	〃	215,000
31	次 月 繰 越		215,000		
		371,000	371,000		

4

(1)

3

(2)

a	¥	8,492,000	b	¥	522,000
---	---	-----------	---	---	---------

(3)

a	¥	400,000	b	¥	1,000
---	---	---------	---	---	-------

5

(1)

借 方		貸 方		
a	仕 入	820,000	繰 越 商 品	820,000
	繰 越 商 品	740,000	仕 入	740,000
b	貸倒引当金繰入	31,000	貸 倒 引 当 金	31,000
c	減 価 償 却 費	225,000	備 品	225,000
d	雑 損	4,000	現 金 過 不 足	4,000

(2)

売 上		11
	129,000	9,701,000
12/31 損 益	9,572,000	
	9,701,000	9,701,000

(3)

貸 借 対 照 表

北陸商店

令和○年/2月3/日

(単位：円)

資 産	金 額	負 債 お よ び 純 資 産	金 額
現 金	782,000	買 掛 金	1,480,000
当 座 預 金	1,436,000	(前 受 金)	230,000
売 掛 金 (1,850,000)		資 本 金	4,520,000
貸倒引当金 (37,000)	1,813,000	(当 期 純 利 益)	591,000
(商 品)	740,000		
貸 付 金	1,600,000		
備 品	450,000		
	6,821,000		6,821,000

(貸倒引当金繰入は、貸倒償却でもよい。)